

Better Health, Brighter Future

# SASB インデックス報告書 2023年

2022 年度実績

この指標は、サステナビリティ会計基準審議会（SASB）のバイオ・製薬産業基準に準拠した開示内容をまとめたものです。この指標は、[2023年版統合報告書](#)および [Takeda.com](#) に記載されている当社のサステナビリティに関する優先事項、コミットメント、イニシアチブに関する内容を補足するものです。SASB の基準に関する詳細は、[SASB.org](#) をご覧ください。

ESG 報告の最適化は、報告プロセスを反復することで実現されます。私たちは、このレポートフレームワークのすべての指標について報告しているわけではありませんが、透明性とステークホルダーに対するコミットメントを示すため、データ収集プロセスと重要な ESG 情報を継続的に報告するよう努めます。

報告期間は、特に明記されていない限り、2022 年度（2022 年 4 月 1 日～2023 年 3 月 31 日）を対象としています。特定のパフォーマンス指標は Apex Companies, LLC または KPMG あずさサステナビリティ株式会社による第三者保証を受けており、記号  または  で示されています。第三者保証報告書は、当社の [サステナビリティ情報開示](#) でご覧いただけます。



## 臨床試験参加者の安全

HC-BP-210a.1

臨床試験の品質と患者の安全性を確保するための管理プロセスについての、世界の地域別の説明

臨床試験は、科学的に設計された治験実施計画書に基づき、被験者への潜在的なリスクと被験者および社会にもたらされる可能性のある利益とのバランスを考慮して計画されます。ヘルシンキ宣言 2013、医薬品規制調和国際会議（ICH）における医薬品の臨床試験の実施の基準に関する省令（GCP）、欧州製薬団体連合会（EFPIA）／米国研究製薬工業協会（PhRMA）の原則を含む国際基準やルールに従って、法規制を遵守して実施されます。

臨床試験の計画・実施、医師による十分な説明を受けたい患者さんが納得して治療を受ける（インフォームド・コンセント）ための手順、試験参加者データの管理についても、当社の価値観であるタケダイズムと倫理基準に従って実施しています。臨床試験は、試験参加者や患者さんの身体的・精神的な健康に配慮すると共に、試験を通じて十分な知見が得られるように計画されます。臨床試験にあたってインフォームド・コンセントの手順に則り予測される効果や起こり得る副作用などについて十分説明した上で、患者さんが自らの意思で試験参加の是非を判断いただけるようにしています。臨床試験のプロセスは、試験参加者の肉体的・精神的な健全性を保ち、患者さんのプライバシーや個人情報を保護するように策定しています。

治験実施施設で治験を担当する主任医師および副医師は、ICH GCP およびその他の適用される原則と基準に従って業務を遂行することに合意しています。臨床試験に携わる従業員には、タケダの行動規範、倫理・コンプライアンス・ポリシー研修、患者さんや健康なボランティアを対象とした研究の実施に関連する生命倫理基準など、各自の職務に関連するタケダの方針および標準業務手順書の研修を実施しています。

タケダのグローバルスタンダードに基づき、GCP に準拠した独立倫理委員会の承認または肯定的意見を得るまでは、治験の開始や大幅な変更は行いません。また、グローバルペイシェントセーフティエバリュエーション部門や研究開発クオリティ部門、その他の研究開発関連部門が、治験のすべての過程において患者さんの保護と治験の質の確保に取り組んでいます。社内基準および手順では、すべての国や地域における品質と患者さんの安全の管理において何が求められるのかを規定しています。プロセスと手順の遵守状況を評価する内部監査を実施するとともに、規制当局による査察も受けています。また、懸念事項を報告するためのエスカレーションプロセスが整備されており、グローバルクオリティチームを通じてタケダ・エグゼクティブチームが監視しています。また、多くの国では、治験参加者は個人情報の取り扱いについて、その国のデータ保護当局に懸念を申し立てる権利を有しています。欧州のデータ保護当局のリストは [こちら](#) をご覧ください。

患者さんの命にかかわる治療を早期にかつ中断されることなく受けられるようにするという目標は、私たちの医薬品アクセス戦略の重要な要素です。治験後アクセス（Post-Trial Access: PTA）は、臨床試験終了後も、治験薬による治療を必要とする適格な治験参加者が治療を継続できるようにすることに貢献しています。PTA の仕組みについての詳細は、[こちら](#) をご覧ください。

臨床試験終了時に、治験担当医師に対し、治験実施施設の被験者レベルのデータを提供しています。タケダがスポンサーとなって実施した第 2-3 相の治験や第 4 相の承認化合物の介入がある臨床試験、および当社の医療機器を評価する臨床試験について、試験結果を記載した原稿を、試験終了後（市販品の場合）、または規制当局による承認、または治験薬の開発中止または終了の判断後、18 カ月以内に提出するよう努めています。タケダの臨床試験に関する詳しい情報は [こちら](#) をご覧ください。

## SASB 指標

## タケダの開示

### 臨床試験参加者の安全（続き）

<p>HC-BP-210a.2</p>	<p>臨床試験の管理と医薬品安全性監視に関連する FDA スポンサー査察のうち、任意対処指摘（VAI）および強制対処指摘（OAI）となった件数</p>	<p>タケダは臨床開発プログラムに対する医薬品の臨床試験の実施の基準（GCP）における査察に対し、問題なく対応しています。米国食品医薬品局（FDA）が実施した GCP 査察の詳細は、<a href="#">「FDA 査察分類データベース」</a>の「バイオリサーチ モニタリングプロジェクト」に記載されています。これらの査察はいずれも問題なく終了しています。</p>
<p>HC-BP-210a.3</p>	<p>開発途上国での臨床試験に関する法的手続による金銭的損失の総額</p>	<p>2022 年度開発途上国での臨床試験に関する法的手続による金銭的損失の総額(円): 0 <input checked="" type="checkbox"/></p> <p>この指標は、Apex Companies, LLC による第三者保証を受けています。算出方法の詳細、倫理とコンプライアンスに関するその他 KPI、または第三者保証報告書は、<a href="#">サステナビリティ情報開示</a>の「価値に基づくガバナンス」の各指標をご覧ください。</p>

### 医薬品へのアクセス

<p>HC-BP-240a.1</p>	<p>医薬品アクセスインデックス（ATM インデックス）で定義されている優先疾患および優先国におけるヘルスケア製品へのアクセスを促進するための活動とイニシアチブの説明</p>	<p>タケダは、患者さんに医療、医薬品、ワクチンをお届けすることを最優先課題としています。私たちは、十分な医療が受けられない地域において、人々の暮らしを豊かにする医薬品やワクチンへのアクセスを拡大するために、総合的かつ持続可能な取り組みが必要であると考えています。様々なステークホルダーとの対話を通じて、患者さんの医薬品へのアクセスの障壁に積極的に取り組み、医療制度を変革し、世界中の人々の生活を向上させます。</p> <p>患者さんの医薬品へのアクセスを加速するという取り組みは、私たちの企業理念に組み込まれており、世界中で、そしてすべての治療領域にわたって私たちが実行しているものです。</p> <p>低所得国および医療制度が発展中の国では、以下の 3 つの戦略的必須項目を中心として、医薬品アクセスの取り組みを実施しています。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. パートナーとの協働を通じて医療制度を変革し、患者さんの医薬品へのアクセスを拡大</li> <li>2. 価格障壁に対処し、医薬品やワクチンへのアクセスを可能にする革新的プログラムの導入と支援 <ul style="list-style-type: none"> <li>▪ 段階的な価格設定</li> <li>▪ 購入しやすさに基づいた患者さんの医薬品アクセス支援プログラム</li> <li>▪ 価値に基づいたヘルスケアモデル</li> </ul> </li> <li>3. 患者さんの医薬品・ワクチンへのアクセス拡大に向けた政策立案者との協働</li> </ol> <p>医薬品アクセスに関するタケダの考え方については、<a href="#">価格設定に対するタケダの見解</a>をご覧ください。</p> <p>医薬品アクセスプログラムの詳細については、2 年ごとの進捗報告書「<a href="#">プログレスレポート 2022</a>」をご覧ください。</p>
---------------------	---	---

医薬品へのアクセス (続き)

<p>HC-BP-240a.2</p>	<p>医薬品事前認定プログラム (POP) の一部である WHO の事前認定済医薬品リストにある製品のリスト</p>	<p>タケダは WHO の承認済医薬品リストに登録されている製品を保有していません。</p> <p>タケダのワクチンビジネスユニットが目指す未来は、最も重篤な感染症に対処するワクチンによって、世界中の人々の健康を守ることにあります。私たちの使命は、公衆衛生における最も困難な問題に取り組む革新的なワクチンを開発・提供し、世界中の人々の生活を向上させることです。タケダのグローバルワクチン事業は、デング熱、COVID-19、インフルエンザ、ジカ熱などの世界で最も重篤な感染症に取り組むためのイノベーションを展開しています。</p> <p>タケダのワクチンに関する取り組みは、<a href="#">こちら</a>をご覧ください。</p> <p>ワクチンに関する取り組みに加え、当社は CARE (Corona Accelerated R&amp;D in Europe) プログラムの共同リーダーを務め、GHIT (Global Health Innovative Technology) Fund にも参加しています。</p> <p>CARE プログラムは COVID-19 に対する喫緊の治療法の発見と開発に特化しており、この種のものとしては最大の事業です。同プログラムでは、学術機関、非営利の研究機関、製薬会社などから第一人者が集まり、COVID-19 および将来のコロナウイルスの脅威に対する治療法の開発、疾病の長期的な解決を目指しています。</p> <p>GHIT Fund は、治療薬やワクチン、診断法など、人々の命を救うためのイノベーションに関する日本の専門性と能力を活かし、発展途上国における HIV/AIDS、結核、マラリア、顧みられない熱帯病 (NTDs) の流行防止に注力しています。タケダは、GHIT への資金拠出に加え、GHIT の製品開発パートナーと協力し、マラリア、結核、NTDs の研究プログラムに取り組んでいます。</p> <p>CARE プログラムの詳細については、<a href="#">こちら</a>をご覧ください。</p> <p>GHIT Fund の詳細については、<a href="#">こちら</a>をご覧ください。</p>
---------------------	--	---

購入しやすさと価格設定

<p>HC-BP-240b.1</p>	<p>支払いやオーソライズド・ジェネリック製品の市場投入を一定期間遅らせるための支払いや条項規約を含む、略式新薬申請 (ANDA) 訴訟の和解数</p>	<p><b>2022 年度支払いやオーソライズド・ジェネリック製品の市場投入を一定期間遅らせる条項を含む、略式新薬申請 (ANDA) 訴訟の和解数: 0 件 <input checked="" type="checkbox"/></b></p> <p>武田薬品工業株式会社は、ANDA 申請者との間で、ANDA 申請者が製品発売を遅らせる見返りとして、ANDA 申請者に金銭を支払う、いわゆる「Pay for delay」和解や、ANDA 申請者が製品を発売した後一定期間、当社ブランドのオーソライズドジェネリック医薬品を発売しない合意をしたことはありません。</p> <p>この指標は、Apex Companies, LLC による第三者保証を受けています。算出方法の詳細、倫理とコンプライアンスに関するその他 KPI、または第三者保証報告書は、<a href="#">サステナビリティ情報開示</a>の「価値に基づくガバナンス」の各指標をご覧ください。</p>
---------------------	--	--

購入しやすさと価格設定（続き）

<p>HC-BP-240b.2</p>	<p>前年と比較した米国製品ポートフォリオにおける(1)平均定価および(2)平均正味価格の変化率</p>	<p>私たちは、<a href="#">米国における価格設定方法</a>において、米国のポートフォリオ全体の年間平均定価と平均正味価格の変化率を開示しています。当社の算出方法および過去のデータについても、同リンク先をご覧ください。当社の平均正味価格価格算出方法においては、平均正味価格は定価ではなく純売上高で加重平均しています。</p> <p>このデータは会計年度ベースではなく暦年ベースで収集されているため、この SASB 表のその他の情報については、記載されている期間と乖離があります。</p>
<p>HC-BP-240b.3</p>	<p>前年と比較して増加率が最も大きかった製品の(1)定価と(2)正味価格の変化率</p>	<p>タケダでは、現在この指標に基づく報告を行っていません。米国の製品価格改定において、どの指標を開示するかについては、<a href="#">米国における価格設定方法</a>をご覧ください。</p>

医薬品の安全性

<p>HC-BP-250a.1</p>	<p>食品医薬品局（FDA）の MedWatch 安全性アラート（医薬品）データベースに掲載されている製品のリスト</p>	<p>安全性に関する警告が出ているタケダの医薬品は、<a href="#">FDA MedWatch Safety Alerts for Human Medical Products database</a> に掲載されています。</p>
<p>HC-BP-250a.2</p>	<p>FDA の有害事象報告システムで報告された製品に関連した死亡者数</p>	<p>非公開</p>
<p>HC-BP-250a.3</p>	<p>リコール件数、総リコール数</p>	<p>2022 年度クラス I 自主回収：0 件 <input checked="" type="checkbox"/></p> <p>2022 年度クラス II 自主回収：0 件 <input checked="" type="checkbox"/></p> <p>このデータの範囲は米国のみであり、強制回収と自主回収の両方が含まれています。過去の製品リコールは、<a href="#">FDA Drug Recalls データベース</a>で確認できます。</p> <p>この指標は、Apex Companies, LLC による第三者保証を受けています。算出方法の詳細、倫理とコンプライアンスに関するその他 KPI、または第三者保証報告書は、<a href="#">サステナビリティ情報開示</a>の「価値に基づくガバナンス」の各指標をご覧ください。</p>

医薬品の安全性（続き）

<p>HC-BP-250a.4</p>	<p>回収、再利用、または廃棄が承認された製品の総量</p>	<p>タケダは、Pharmaceutical Product Stewardship Working Group (PPSWG)を含む関連業界団体と協力し、医薬品の回収プログラムに支援・参加をしています。また、患者さんやエンドユーザーの方々に、不要になった、あるいは期限切れの医薬品や鋭利物を安全に返却・廃棄するための教育を支援しています。必要に応じて、改善計画や改善ロードマップを含め、未使用の医薬品や鋭利物の回収活動に関する基本的な理解を引き続き向上させます。医薬品の回収プログラムに参加することで、環境に放出されるかもしれない医薬品の量も、人々が不要な薬剤に触れてしまう可能性も、減らすことができます。</p> <p>タケダ社外の医薬品回収プログラムへの支援は、現在、米国、ブラジル、カナダでのみ行われています。PPSWG では、タケダからの参加と協力を通じて、2022年には不要な医薬品を約440トン、鋭利物の入った医薬品を約100トン回収し、廃棄に回すことができました。他の地域の同様のプログラムを支援することについても、現在検討を続けています。</p>
<p>HC-BP-250a.5</p>	<p>現行 GMP (current Good Manufacturing Practices)違反に対して実施された FDA による強制措置の件数（種類別）</p>	<p>非公開</p>

偽造医薬品

<p>HC-BP-260a.1</p>	<p>サプライチェーン全体で製品のトレーサビリティを維持し、偽造を防止するための方法と技術の説明</p>	<p>タケダは患者さんの安全を確保するため、リスクに基づく包括的な手法を積極的に用いて、偽造医薬品、違法医薬品、その他不正が疑われる医薬品の危険性を見つけ出し、適切に対処しています。そのために特別に設置された偽造薬品対策チームは、戦略的手法を用い、社内の関連部署および外部機関と協力して、この使命を実行しています。</p> <p>タケダの偽造薬、模造薬および医薬品の違法取引に対する基本方針は次の通りです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 国内および国外の法執行機関、規制当局、他の製薬企業、業界団体と積極的に協力して、偽造医薬品や違法取引と戦う一方で、患者さん、取引企業、そして医療関係者などに偽造医薬品や違法取引に関する危険性について啓発します。国際製薬団体連合会（IFPMA）の“Fight the Fake（ニセ薬に気をつけろ！）”キャンペーンや安全なオンライン薬局連盟（ASOP）などとのパートナーシップを通じ、患者さんを啓発する草の根活動に寄与します。</li> <li>■ 世界中の取引企業に対して常時、高度な安全性基準や要件を設定し、これらの要件に照らして精査（デュ ーデリジェンス）と監査を行います。</li> <li>■ 医薬品の偽造、盗難や流用、改ざんを検知し事前に防ぐため、製品とパッケージ用の革新的な不正防止策を評価・開発・導入します。</li> <li>■ 違法オンライン薬局など違法インターネット取引の積極的モニタリングおよび介入など、タケダ製品の違法取引に関わる疑いのある組織を継続的に検知・調査し、証拠を収集します。</li> </ul> <p>詳しくは、<a href="#">「偽造薬、模造薬および医薬品の違法取引に対するタケダの見解」</a>をご覧ください。</p>
---------------------	--	--

偽造医薬品（続き）

<p>HC-BP-260a.2</p>	<p>偽造品に関連する潜在的または既知のリスクを顧客およびビジネスパートナーに警告するプロセスの説明</p>	<p>国内および国外の法執行機関、規制当局、他の製薬企業、業界団体と積極的に協力して、偽造医薬品や違法取引と戦う一方で、患者さん、取引企業、そして医療関係者などに偽造医薬品や違法取引に関する危険性について啓発します。国際製薬団体連合会（IFPMA）の“Fight the Fake（ニセ薬に気をつけろ！）”キャンペーンや安全なオンライン薬局連盟（ASOP）などとのパートナーシップを通じ、患者さんを啓発する草の根活動に寄与します。</p> <p>詳しくは、「<a href="#">偽造薬、模造薬および医薬品の違法取引に対するタケダの見解</a>」をご覧ください。</p>
<p>HC-BP-260a.3</p>	<p>偽造品に関する襲撃、押収、逮捕や刑事告訴の原因となった訴訟の数</p>	<p>これは、組織として追跡および開示すべき重要な指標とはみなされていません。しかしタケダでは、法執行機関、規制当局、同業他社、業界団体と積極的に協力しながら、偽造医薬品に対する取り組みを実施しています。</p>

倫理観に則ったマーケティング

<p>HC-BP-270a.1</p>	<p>虚偽のマーケティング宣伝文句に関する法的手続による金銭的損失の総額</p>	<p>2022 年度 虚偽のマーケティング宣伝文句に関する法的手続による金銭的損失の総額（円）：0 <input checked="" type="checkbox"/></p> <p>この指標は、Apex Companies, LLC による第三者保証を受けています。算出方法の詳細、倫理とコンプライアンスに関するその他 KPI、または第三者保証報告書は、<a href="#">サステナビリティ情報開示</a>の「価値に基づくガバナンス」の各指標をご覧ください。</p>
<p>HC-BP-270a.2</p>	<p>製品の適応外使用のプロモーションを管理する倫理規定の説明</p>	<p>私たちは、タケダ製品およびタケダ製品で治療または予防する疾患について、客観的で正確な情報を提供します。私たちは、タケダ製品およびタケダ製品で治療または予防する疾患に関する情報を提供する責任を負っています。私たちが、広告、プロモーションまたは教育的活動を通じて情報を提供する場合、適用される要件に従い、適切なコミュニケーション・チャンネルを使用します。また、情報提供の際、デジタルや対面などいかなるチャンネルを使用する場合も、私たちは情報が正確・公正で、バランスのとれた、科学的な根拠に基づいたものであるようにします。私たちは、患者さんと医療関係者の関係を尊重します。患者さんが治療に関する事項について私たちに尋ねてきた場合には、私たちは医療関係者による助言を求めるよう促します。私たちは、決してタケダ製品の承認された効能効果外の販売促進を行いません。不適切な販売およびマーケティング慣行（適応外プロモーションを含む）は、気づいた時点で倫理・コンプライアンス部に報告しなければならない懸念事項のカテゴリーとして、「問題の報告および処理に関するグローバルポリシー」に具体的に記載されています。</p> <p>そして、倫理観の醸成やコンプライアンスを促進するため、チーフ エシックス&amp;コンプライアンス・オフィサーおよびリスク・エシックス&amp;コンプライアンス・コミッティー（RECC）を設置し、両者が協働して倫理およびコンプライアンス事案を全社的なアプローチで対応する体制を構築しています。すべてのグループ会社においてタケダ・グローバル行動規準および関連するグローバルポリシーと現地の規則に則って、エシックス&amp;コンプライアンス・プログラムの実行と強化を推進しています。これらのポリシーはビジネス・レビュー・コミッティー（BRC）により承認されたものです。</p> <p>エシックス&amp;コンプライアンス・プログラムにおいて、研修や教育は重要な要素です。新たに入社した従業員は、グローバル行動基準、贈収賄禁止ポリシーなど、従業員がとるべき行動に関する標準業務手順書（SOP）についての研修を受けます。</p>

## 従業員採用、育成及び定着

HC-BP-330a.1

科学者や研究開発人材の  
人材確保・定着の取組み  
についての説明

近年、世界中でさまざまな出来事が起こったことにより、創薬プロセスも私たちの働き方も変化しています。優れた人材を惹きつけ、獲得し、育成し、定着させるにあたっては、臨床試験を実施するにあたっては、さらには患者さんとの関わりにおいても、まったく新しい思考が必要になりました。以下で紹介しているタケダの取り組みは、私たちの目指す未来および価値観に沿って、従業員やこれから入社する人々にとって理想的な働き方の実現を目指すものです。2022年度に研究開発部門で新たに採用した人材の数はこれまでで最多に及びました。科学者、データエンジニア、データアナリスト、臨床試験担当者、薬事担当者など、誰もが患者さんのために仕事をしています。こうした多様な役割を後押しするのが、テクノロジーであり、協働しやすいワークスペースであり、業務内容に応じて最高のパフォーマンスを発揮できる場所で働けるハイブリッドなワーキングモデルです。タケダにはデータ駆動型プログラムやテクノロジーを利用しやすい環境があるため、すべての従業員が容易につながり合い、協力しながらともに仕事を行うことができます。

**タケダの研究開発 - 優秀な人材の採用**

ともに働く仲間を大切に、私たちの価値観に基づいて行動する企業文化は、多くの人々を惹き寄せています。実際、2022年度の社外からの応募者数は月平均で13人から31人に増加しました。タケダでは、応募者と面接担当者の両方で多様性を確保するため、採用マネージャーとのミーティングの段階から包括性を重視し、DE&Iや行動分析に基づく面接トレーニングや、タケダ・リーダーシップビヘイビアにフォーカスした包括的なツールキットを提供しています。こうした取り組みは、研究開発の大半の人材が属する地域、つまり米国、欧州、日本、中国で実施されています。またこれらの地域では、アンチ・バイアス言語ソフトを使用して、あらゆる人々にとって適切な（つまり、偏見のない）職務記述書の作成を行っています。こうした努力により、2022年度は新たに約1,700名が研究開発部門の一員になりました。社内採用数は21%以上増加し、従業員による紹介の割合は27%に増加しました（2021年度は21%）。

現在、4つの社外パートナーシップを通じて、不利な状況下にある米国の学部生をインターンに迎えた後に採用する取り組みを行っています。スイスでは、18カ月間の研究開発研修プログラムを通じて若い世代が研究開発業務に携わる機会を提供することにより、キャリアをスタートさせたばかりの人材の獲得を進めています。また、新入社員が早い段階から一体感、自信、仕事に役立つヒントを得られるよう、新入社員向けの実践的なリソースに的を絞った、包括的なグローバルR&D新入社員受け入れプログラムを用意しています。さらに、新入社員が日々の疑問をすぐに解決し、タケダの文化に順応していけるよう、その助けとなる「トモダチ」を一人一人に割り当てることを採用マネージャーに推奨しています。

**タケダの研究開発 - 生涯学習と人材管理**

従業員アンケートを実施した結果、研究開発部門の大半の従業員が、タケダは誰もが生き生きと働き、成長し、その実力を発揮できる職場だと考えていることがわかりました。その数は、先日リリースしたBloomによりさらに増えるものと期待しています。Bloomとは、知識を増やしてスキルを高めていきたい従業員のための、エンタープライズレベルの学習プラットフォームです。リリース直後から、研究開発部門の従業員は他の部門を上回るスピードでBloomを利用し始めました。タケダではその他、Bloomを補完する研究開発部門向けのキャリア開発プログラムを通じて、変化の促進、人材パイプラインの充実化につながる文化の醸成、女性リーダーの定着を後押ししています。その一例を以下に紹介します。



- 2022 年度、6 カ月間の R&D Mentoring Connection and R&D Women's Mentoring Network では、1 万 2,000 時間のメンタリングを実施しました。
- 2022 年度、シニアリーダーのパイプラインを多様化するための 6 カ月間のローテーション型 Achieve プログラムでは、キャリア初期段階のマネジャー 23 人にスポンサーが割り当てられ、さらに重要な役割を担うための成長に向けたアドバイスを受けました。
- 2022 年度、研究開発のリーダー職にとって重要なスキルを向上させるためのカリキュラム「GROW Coaching」の試験運用が開始され、参加率は 21%でした。2023 年度はライブ学習とセルフ学習の両方で継続していきます。
- 2022 年度、WOMEN Unlimited プログラムには 26 名の女性が参加しました。
- Knowledge Development Academy シリーズでは、臨床開発の科学、医学、技術面にフォーカスしています。
- Takeda Physician Scientist Accelerator プログラムでは、臨床経験があり、科学的に高い実績を有する医師を創薬分野のポジションで採用しています。
- Science Forum セッションでは、創薬に向けて議論を活発化し、画期的な発想を促進し、新たなアプローチを生み出すことを目指しています。

#### タケダの研究開発 - 多様性、公平性、包括性 (DE&I)

データと私たちの価値観に基づいた 3 年間の総合的な R&D DE&I 戦略が 2 年目に突入するなか、R&D CAUSE ネットワークはさらに拡大しており、現在ではおよそ 600 人の従業員がボランティアで自らの時間と専門知識を提供し、研究開発部門における DE&I ソリューションの構築に協力してくれています。あらゆる地域で多くの従業員に参加してもらうことにより、多様な意見を集めることができています。タケダの研究開発部門が賞を受賞するほどの理想的な職場であり続けている一因も、そこにあります。

人材の多様化を進めるための代表的なソリューションには、恵まれない地域でキャリアの初期段階にいる人々を採用すること、ポジションの引き継ぎの計画段階から多様な候補者を用意すること、社外のパートナーシップや社内のメンタリングプログラムを通じて公平なキャリア機会を創出すること、Diverse Talent Advisory Board を立ち上げて全社レベルの意思決定に多様な視点を取り入れることなどがあります。また、包括性の高いチームを育てることを目標として、すべての職務レベルで包括性スキルを確保していくための双方向プログラムを試験的にスタートさせました。さらに、チームの有効性に関するアンケートの範囲を広げ、チームの包括性を測定できるようにしました。

包括的な組織をつくりたいという従業員の意欲を支えているのは、健康の公平性と取引先の多様性を向上させるための取り組みです。たとえば当社には、包括的な臨床試験のためのモデルがあります。ここでは、米国でのすべての臨床試験で多様性計画を取り入れることを義務付けているほか、プロセス全体を通じてあらゆる人々を対象としたコミュニケーションを行っています。「パートナーとしてのコミュニティ」イニシアティブでは、臨床試験を実施する地域の健康の公平性にフォーカスし、有志の従業員が信頼関係を構築して長期的な投資を行う機会を持てるようにしています。さらに、タケダ全体でさまざまなパートナーと協力することで、取引先の多様性を高めています。

タケダの研究開発部門の目標は、どのような背景を持つ従業員も、生き生きと働き、成長し、その実力を発揮することができる職場をつくることです。従業員が意見を言えば何かアクションがとられ、従業員一人一人の成功を後押しするリソースに積極的に投資するような、包括性、公平性、機動性の高い文化をつくり上げようとしています。ウェルビーイング（心身の健康）、人材開発、そして DE&I など、ともに働く仲間にもフォーカスしたさまざまなプログラムを通して、従業員が魅力を感じ、仕事を楽しむことができ、ずっと働き続けたいと思える職場をつくるのが、最終的には患者さんへの貢献につながるのです。

## SASB 指標

## タケダの開示

### 従業員の採用、育成及び定着（続き）

HC-BP-330a.2	(1) 自発的離職率と (2) 非自発的離職率： (a) 執行役員・上級管理職、 (b) 中間管理職、 (c) 専門職、 (d) その他の全従業員	2022 年度 グローバル 自発的総離職率：7% <input checked="" type="checkbox"/> 2022 年度 グローバル 非自発的総離職率：14% <input checked="" type="checkbox"/>  この指標は、Apex Companies, LLC による第三者保証を受けています。算出方法の詳細、離職率に関連するその他の KPI、または第三者保証報告書については、 <a href="#">サステナビリティ情報開示</a> の「ともに働く仲間のために」の各指標をご覧ください。
--------------	--	--

### サプライチェーンマネジメント

HC-BP-430a.1	Rx-360 国際医薬品サプライチェーンコンソーシアム監査プログラム、またはサプライチェーンと原材料の信頼性に関する同等の第三者監査プログラムに参加している (1) 事業体の施設と (2) Tier I サプライヤーの施設の割合	非公開
--------------	--	-----

### 企業倫理

HC-BP-510a.1	汚職や賄賂に関する法的 手続による金銭的損失の 総額	2022 年度 汚職・贈収賄に関連する法的手続きによる金銭的損失の総額（円）：0 <input checked="" type="checkbox"/>  この指標は、Apex Companies, LLC による第三者保証を受けています。算出方法の詳細、倫理とコンプライアンスに関するその他 KPI、または第三者保証報告書は、 <a href="#">サステナビリティ情報開示</a> の「価値に基づくガバナンス」の各指標をご覧ください。
--------------	----------------------------------	--

## 企業倫理（続き）

HC-BP-510a.2

医療従事者との交流に関する倫理規定の説明

タケダのすべての行動の根底には、タケダイズムという価値観があります。このタケダイズムは、「誠実」を中心に、「公平」「正直」「不屈」という精神で構成されています。そしてこの価値観を実践するため、タケダは「1. 患者さんに寄り添い（Patient）、2. 人々と信頼関係を築き（Trust）、3. 社会的評価を向上させ（Reputation）、4. 事業を発展させる（Business）」という優先順位に沿って日々の意思決定を行っています。当社は販売活動においても患者さんを中心に考える方針に従い、当社医薬品の処方・使用・管理・購入・推奨に対して不当な影響力を行使せず、報酬も提供しません。また当社医薬品の使用を勧めるために、金銭・贈り物・サービス・接待・その他の有価物の提供も行いません。

この立場を明確に示すために、医療関係者および医療機関との交流に関するグローバルポリシー、患者および患者団体との交流に関するグローバルポリシー、公務員および政府機関との交流に関するグローバルポリシー、贈収賄禁止グローバルポリシー、行動規範を含むあらゆるグローバルポリシーを策定しています。これらポリシーに関するトレーニングは、タケダに入社後、30日以内に完了しなければならず、相互作用ポリシーについては2年ごと、[行動規準](#)と[贈収賄禁止ポリシー](#)については毎年研修を受ける必要があります。

また、各国の関連法、国際製薬団体連合会（IFPMA）コード・オブ・プラクティス、各地の業界団体が定めた行動基準などを遵守した活動を推進しています。医薬情報は適切な手段や媒体を通じて、正確かつ公正に、バランスの取れた方法で提供します。社内外のガイドラインに基づき、医薬品のプロモーション資材の見直しを実施しています。これらの評価は独立組織が行う場合があり、定期的なモニタリングも行っています。これらの評価とモニタリングは標準業務手順書（SOP）に基づいて行われます。

質問や懸念は、人事、法務、エシックス&コンプライアンス・オフィサーを通じて社内で、または直接シニア管理職へ報告することもできます。すべての質問や懸念は、迅速に、機密に、そして敬意を持って対処されます。「[タケダ・エシックスライン](#)」は、タケダの価値観（バリュー）が守られていないと感じた場合に、従業員や一般の人々が質問や懸念を報告することができるものです。オンラインと電話で24時間、20の言語で受け付けています。また、必要に応じて、匿名での相談もできるようになっています。

当社の価値観およびグローバル行動規準に沿っていない行動または慣行に対しては、迅速にそして適切な措置が取られます。同様の問題が二度と起こらないよう、正しくない行いの根本原因を分析・理解することに努めています。私たちは、意識向上の取組みを通じて、「声を上げる（Speak-up）」文化を推進し続けます。

詳しくは、[行動規準](#)または [Takeda.com](#) で、当社基準の遵守を確認するための仕組みをご覧ください。

## アクティビティメトリクス

HC-BP-000.A	治療患者の数	<p>タケダでは、人々の暮らしを豊かにする医薬品へのアクセスを世界中で推進することを目指しています。</p> <p>タケダでは、革新的な医薬品アクセスプログラム、医療制度の改革活動、タケダがスポンサーを務める臨床試験などを通じて、十分な治療を受けられない地域においてタケダの医薬品やワクチンにアクセスできた患者さんの数を毎年報告しています。</p> <p>過去のデータや第三者保証のスコアなど、当社の KPI に関する詳細は、<a href="#">サステナビリティ情報開示</a>の「すべての患者さんのために」の各指標をご覧ください。</p>
HC-BP-000.B	(1) ポートフォリオと (2) 研究開発中（フェーズ 1～3）にある医薬品の数	<p>当社のポートフォリオとパイプラインについては、<a href="#">こちら</a>から最新の四半期ごとの決算情報をご覧ください。</p>

# 免責事項

## 留意事項

本注意事項において、「本報告書」とは、本報告書に関して武田薬品工業株式会社（以下、「武田薬品」）によって説明又は配布された本書類並びに一切の口頭のプレゼンテーション、質疑応答及び書面又は口頭の資料を意味します。本報告書（それに関する口頭の説明及び質疑応答を含みます）は、いかなる法域においても、いかなる有価証券の購入、取得、申込み、交換、売却その他の処分の提案、案内若しくは勧誘又はいかなる投票若しくは承認の勧誘のいずれの一部を構成、表明又は形成するものではなく、またこれを行うことを意図しておりません。本報告書により株式又は有価証券の募集を公に行うものではありません。米国 1933 年証券法の登録又は登録免除の要件に基づいて行うものを除き、米国において有価証券の募集は行われません。本報告書は、（投資、取得、処分その他の取引の検討のためではなく）情報提供のみを目的として受領者により使用されるという条件の下で（受領者に対して提供される追加情報と共に）提供されております。当該制限を遵守しなかった場合には、適用のある証券法違反となる可能性があります。

武田薬品が直接的に、又は間接的に投資している会社は別々の会社になります。本報告書において、「武田薬品」という用語は、武田薬品及びその子会社全般を参照するものとして便宜上使われていることがあります。同様に、「当社（we、us 及び our）」という用語は、子会社全般又はそこで勤務する者を参照していることもあります。これらの用語は、特定の会社を明らかにすることが有益な目的を与えない場合に用いられることもあります。

本報告書に記載されている製品名は、武田薬品又は各所有者の商標又は登録商標です。

## 将来に関する見通し情報

本報告書及び本報告書に関して配布された資料には、武田薬品の見積もり、予測、目標及び計画を含む武田薬品の将来の事業、将来のポジション及び業績に関する将来見通し情報、理念又は見解が含まれています。将来見通し情報は、「目標にする (targets)」、「計画する (plans)」、「信じる (believes)」、「望む (hopes)」、「継続する (continues)」、「期待する (expects)」、「めざす (aims)」、「意図する (intends)」、「確実にする (ensures)」、「だろう (will)」、「かもしれない (may)」、「すべきであろう (should)」、「であろう (would)」、「かもしれない (could)」、「予想される (anticipates)」、「見込む (estimates)」、「予想する (projects)」などの用語若しくは同様の表現又はそれらの否定表現を含むことが多いですが、それに限られるものではありません。これら将来見通し情報は、多くの重要な要因に関する前提に基づいており、実際の結果は、将来見通し情報において明示又は暗示された将来の結果とは大きく異なる可能性があります。その重要な要因には、日本及び米国の一般的な経済条件を含む武田薬品のグローバルな事業を取り巻く経済状況、競合製品の出現と開発、世界的な医療制度改革を含む関連法規の変更、臨床的成功及び規制当局による判断とその時期の不確実性を含む新製品開発に内在する困難、新製品及び既存製品の商業的成功の不確実性、製造における困難又は遅延、金利及び為替の変動、市場で販売された製品又は候補製品の安全性又は有効性に関するクレーム又は懸念、新規コロナウイルス・パンデミックのような健康危機が、武田薬品が事業を行う国の政府を含む武田薬品とその顧客及び供給業者又は武田薬品の事業の他の側面に及ぼす影響、買収対象企業との PMI（買収後の統合活動）の時期及び影響、武田薬品の事業にとっての非中核資産を売却する能力及びかかる資産売却のタイミング、当社による省エネルギーへの取り組み及び将来の再生可能エネルギー又は低炭素エネルギー技術の発展による当社の温室効果ガス排出量の削減の程度、武田薬品のウェブサイト (<https://www.takeda.com/investors/sec-filings/>) 又は [www.sec.gov](http://www.sec.gov) において閲覧可能な米国証券取引委員会に提出した Form 20-F による最新の年次報告書並びに武田薬品の他の報告書において特定されたその他の要因が含まれます。武田薬品は、法律や証券取引所の規則により要請される場合を除き、本報告書に含まれる、又は武田薬品が提示するいかなる将来見通し情報を更新する義務を負うものではありません。過去の実績は将来の経営結果の指針とはならず、また、本報告書における武田薬品の経営結果及び情報は武田薬品の将来の経営結果を示すものではなく、また、その予測、予想、保証又は見積もりではありません。

## 財務情報及び国際会計基準に準拠しない財務指標

武田薬品の財務諸表は、国際会計基準（以下、「IFRS」）に基づいて作成されております。本報告書には、Core 売上収益、Core 営業利益、Core 当期利益、Core EPS、CER（Constant Exchange Rate：恒常為替レート）ペースの増減、純有利子負債、EBITDA、調整後 EBITDA、フリー・キャッシュ・フローのように、IFRS に準拠しない財務指標が含まれています。当社経営陣は業績評価並びに経営及び投資判断を、IFRS 及び本報告書に含まれる IFRS に準拠しない財務指標に基づいて行っています。IFRS に準拠しない財務指標においては、最も良く対応する IFRS 財務指標では含まれることとなる、又は異なる数値となる一定の利益、コスト及びキャッシュ・フロー項目を除外しております。IFRS に準拠しない財務指標を提供することで、当社経営陣は、投資家の皆様に対し、武田薬品の経営状況及び Core 業績の更なる分析のための為替変動の影響を含む付加的な情報を提供したいと考えております。IFRS に準拠しない財務指標は、IFRS に準拠するものではなく、付加的なものであり、また、IFRS に準拠する財務指標に代替するものではありません（IFRS に準拠する財務指標を「財務ベース」指標として参照している場合があります）。投資家の皆様におかれましては、IFRS に準拠しない財務指標につき、当社の 2022 年度決算説明会プレゼンテーション資料 (<https://www.takeda.com/jp/investors/financial-results/quarterly-results/>) の末尾にある appendix に掲載した財務補足情報にて、これらに最も良く対応する IFRS 準拠財務指標との照合を行っていただけますようお願い申し上げます。

## 為替

本報告書では、特に断りのない限り、利用者の便宜のために、日本円で表示された一部の金額をニューヨーク連邦準備銀行が 2023 年 3 月 31 日に認定した正午時点の買値レートである 1 米ドル=132.75 円で米ドルに換算しています。これらの便宜的な換算に使用された買値レート及び換算方法は、当社の連結財務諸表に使用される IFRS の換算レート及び換算方法とは異なります。これらの便宜的な換算は、関連する日本円の金額が当該買値レート又は他のレートで米ドルに換算されることを示すものではありません。

## 医療情報

本報告書には、製品に関する情報が含まれておりますが、それらの製品は、すべての国で発売されているものではなく、また国によって異なる商標、効能、用量等で販売されている場合もあります。ここに記載されている情報は、開発品を含むいかなる医療用医薬品を勧誘、宣伝又は広告するものではありません。



**武田薬品工業株式会社**

グローバル本社

〒103 - 8668

東京都中央区日本橋本町二丁目1番1号

TEL : 03- 3278- 2111 (代表)

FAX : 03- 3278- 2000 (代表)

**takeda.com**

© Copyright 2023 Takeda Pharmaceutical Company Limited. All rights reserved.